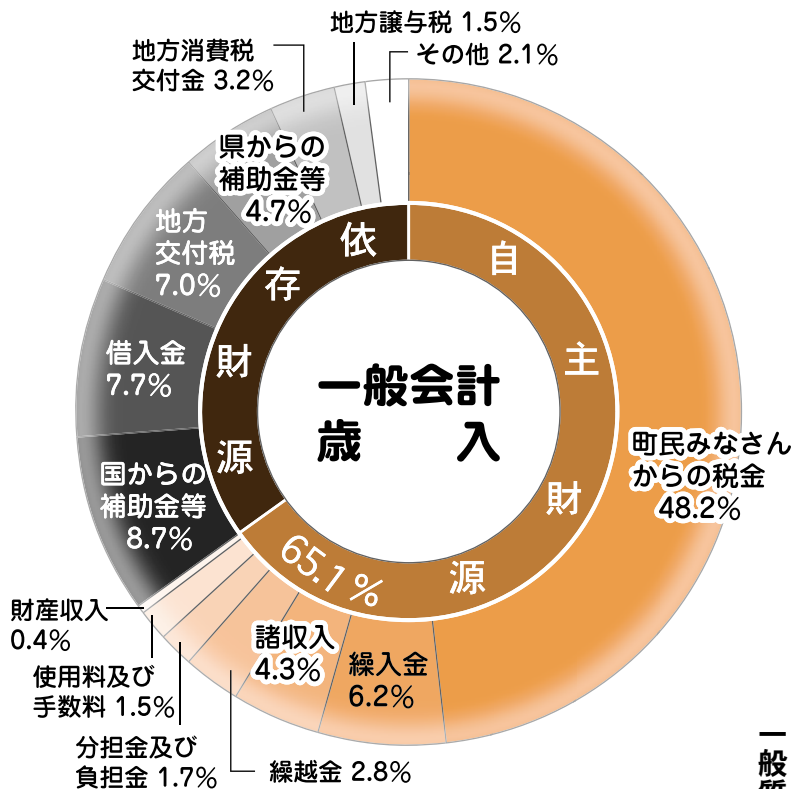


平成20年度
決算認定

2億4000万円を財政調整基金へ積み立て

収支は4億4037万2990円

黒字



状況は良好です

平成20年度決算の特徴

～前年度を上回る結果に～

●歳入…5.3%増

固定資産税の伸びなどから町税が0.4%増、また緊急経済対策臨時交付金などにより、国からの補助金が大幅に伸びました。反面、地方交付税は、30.4%減と大きく落ち込んでいます。

●歳出…6.0%増

玉村中学校建設工事のための経費が増えていますが、そのほかは平成19年度とほぼ同様の状況です。

実質収支 ▶ 引き続き黒字で、良好です。

財政力指数 ▶ 0.84 (前年度0.80) と引き続き上昇し、良好です。

※県内の市の平均は平成19年度0.81

貯金残高 ▶ 25億9526万円

決算内容をチェック!
決算特別委員会での質疑は
4・5ページに掲載



決算審査意見書

(抜粋)



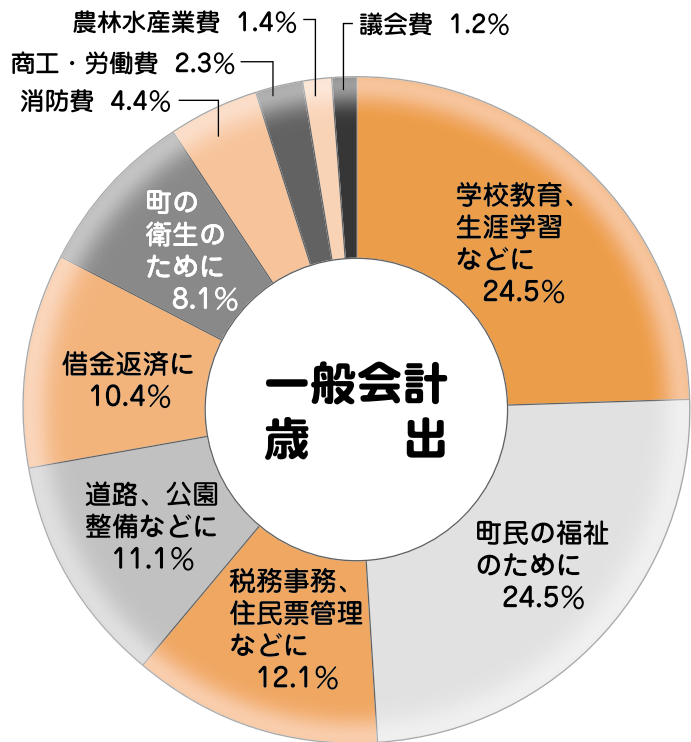
監査委員より、決算審査意見書が町長に提出されました。

前年度に改善の措置を求めたものの多くは、改善が図られ、改善まで結びつかないものについても進展が認められた。

予算の執行は、おおむね適正かつ効率的に行われていた。平成20年度に町から補助金を支出したのは138事業であり、平成19年度より約508万円減となっている。各団体の事業実施状況は良好であり、残金も町へ戻され、補助金の有効活用が図られている。

また、不納欠損額（税金など集金不可能と判断されたもの）は、全体で約7000万円だった。今後とも公平性・公正性の観点から、明確な基準を設け、本当にやむを得ないもののみを適正に不納欠損するよう留意されたい。

厳しい経済情勢は、今後も続くと考えられる。歳入においては、自主財源を確保するための施策・収納対策に一層努力されることを要望する。歳出においても、限られた貴重な財源であることへの認識を持ち、適正でより効果のある予算執行が行われることを望み、平成20年度の決算審査意見とする。



玉村町の財政

各会計の決算状況

《一般会計・特別会計》	【歳入】	【歳出】	【差し引き】
一般会計	102億7743万円	97億2156万円	5億5587万円
国民健康保険 特別会計	31億1390万円	29億277万円	2億1113万円
老人保健 特別会計	2億3158万円	2億2430万円	728万円
介護保険 特別会計	12億8078万円	12億5742万円	2336万円
介護予防サービス事業 特別会計	883万円	883万円	0円
下水道事業 特別会計	13億3007万円	12億7872万円	5135万円
後期高齢者医療 特別会計	1億8208万円	1億7988万円	220万円
増減比率(前年比)	△6.1%	△5.9%	△9.8%

《事業会計》	【収入】	【支出】	【差し引き】
水道 事業会計	6億229万円	7億272万円	-1億43万円
農業共済 事業会計	6214万円	5733万円	481万円

《健全化判断比率》

	【平成20年度の比率】	【早期健全化基準】
実質赤字比率(自治体の一般会計の赤字の程度)	黒字	14.14%
連結実質赤字比率(公営事業も含めた赤字の程度)	黒字	19.14%
実質公債費比率(借金の返済額の割合)	7.6%	25.00%
将来負担比率(将来支払うことになる負担)	黒字	350.00%

早期健全化基準を下回っており、健全であると判断できません

【平成20年度の比率】 【早期健全化基準】